

保健所という場所をより豊かにしよう。

問題点

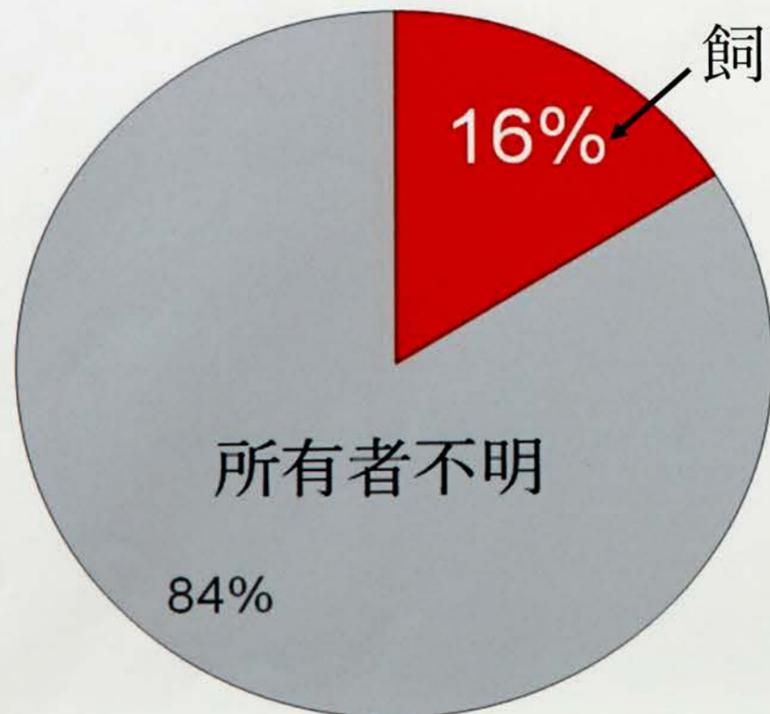
- ・ 飼い主が犬、猫を捨てる
- ・ **殺処分**される子が増える
- ・ 捨てられた子が**野良化**

捨てる理由の具体例：ペットショップで見て「かわいらしい」と思い衝動的に飼う。

家に連れて帰ると子犬が言うことをきかない。

持て余して、こっそり捨てる。→→→病気に感染し自身にも人々にも害を与えてしまう。

引き取り前のペットの割合



具体的な数字で見ると。。。

大阪市での殺処分数経年変化と政令指定都市平均との比較（犬猫合計）



大阪市では、保健所での去勢手術で殺処分数は減っているが、**0**ではない。

解決策

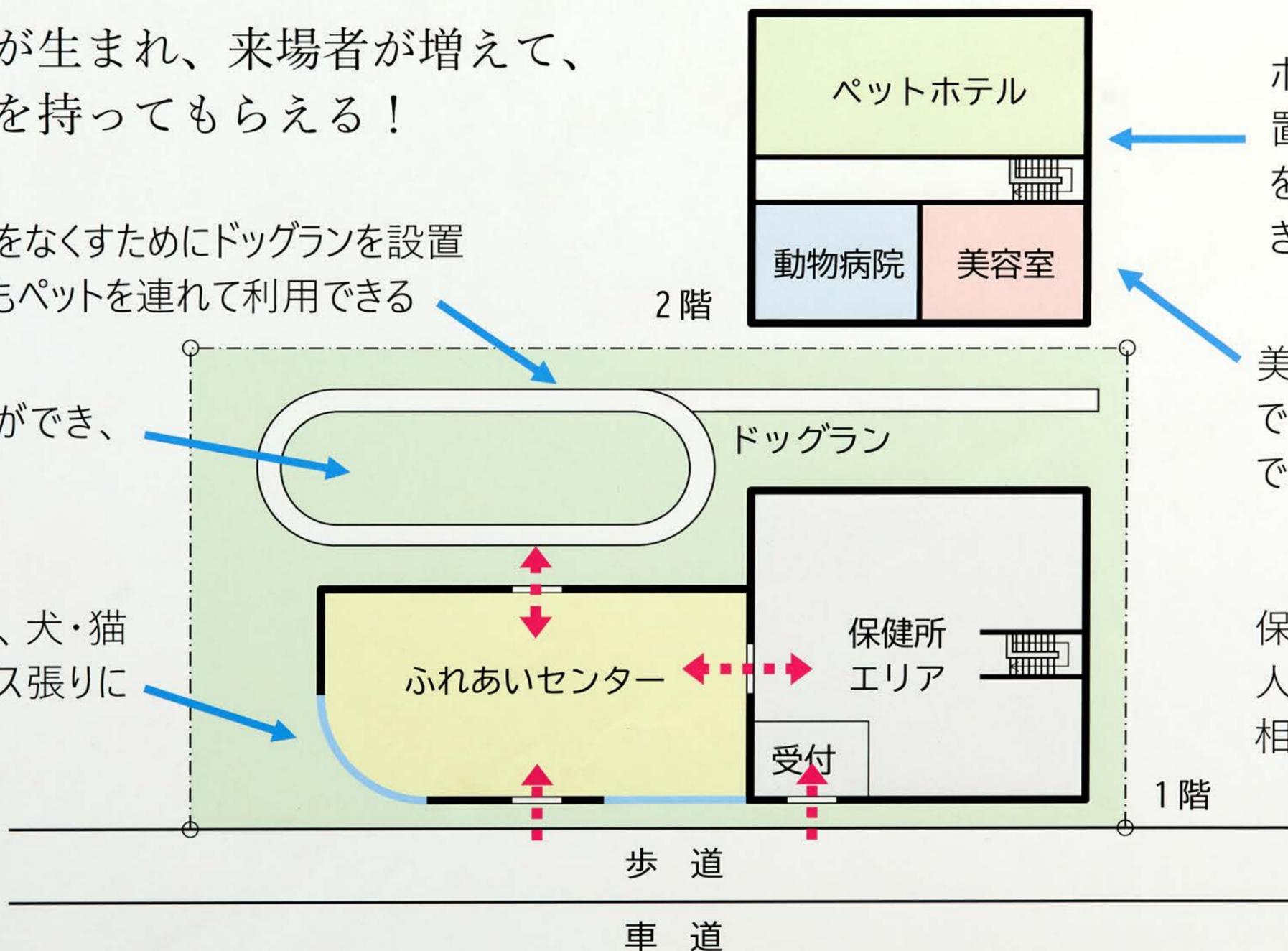
外からでも、犬・猫達が見える保健所にする

保健所に親近感が生まれ、来場者が増えて、保護活動に興味を持ってもらえる！

運動不足をなくすためにドッグランを設置
一般の人もペットを連れて利用できる

犬と一緒に遊ぶことができ、
仲よくなれる

車道や歩道からでも、犬・猫
が見えるように、ガラス張りに
する（水色の所）



ホテル、病院、美容室を設
置することで、その売り上げ
を保護活動に使うことがで
きる

美容室は、学生ボランティア
で学生の練習の場とすること
で、値段を安くできる

保健所に、別の用事で来た
人が、気軽に立ち寄れるよう
相互に行き来できる

飼い主の明確化

- ・猫も登録制にする
- ・犬や猫達に、チップを埋め込む
- ・3か月に一回、飼い主の家に訪問

保健所に引き渡す、または引き取る 時は、お金を払ってもらう

お金は、保護活動のために、養育費や広告費などに使う